

2015アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [草加市立清門小学校] 担当教諭名 [内澤牧子・蓼沼正江] (2年生 162名)
 交流相手国 [カメルーン]
 海外学校名 [G.B.P.S New Town KRIBI I]
 担当教諭名 [Outouen MarieTheodore Mbufung / 関 友美・寺尾 美菜子(JICA)]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	生活	つたわる広がるわたしの生活	12
	図工	ゆめのぼうけんものがたり	2
	学級活動	みんなとなかよくするために(世界を知ろう)	1

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	季節とわたしたち
絵に込めたメッセージ	日本の四季やカメルーンの二季の美しい自然の様子とその中に生きる自分達を描き、この環境を守っていききたいという願いを込めた。
	

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・カメルーンのことを調べることで、日本とちがう文化の国があることがわかった。 ・カメルーン出身の方に会えた。 ・カメルーンの子供たちが折ってくれた折り紙を実際にもらえたりして、他の国の子と交流できたという実感がわいて、日本との違いわかった。 ・異文化を知り、異なっているのだと思えたのではないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動時間の確保が難しい。 ・担任のみで取り組むには負担が大きい。 ・低学年には、調べ学習はまだ難しい。 ・カメルーンのことを調べるには、資料が少なかった。 ・荷物がいつ届くか分からないと先の予定がたてづらかった。 ・5クラスで取り組む良さ(全体で意識を高められる)と難しさ(作業を分担すると一人は少ない)がある。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手国や世界に対しての意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> ・外国に関心をもつようになった。 ・遠い国カメルーンに少し興味をもてた。 ・写真や実物を見たり手に取ったりすることで、身近に感じられた。 ・国旗を見て、すぐカメルーンと分かった。 ・相手国に対して、友好的になった。 ・世界の異文化に対して、しきいが低くなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の国と交流することによってその国のことを知れるので、社会科と合わせてもよいと思う。 ・カメルーンが身近に感じられ、自分自身も新たに知ることができた。 ・小学校低学年でも、けっこう簡単に世界の人と交流できることがわかった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
自己紹介	7月 9月	<ul style="list-style-type: none"> 自分のどんなこと知ってもらいたいか考え、自己紹介カードを作る。 相手から送られてきた自己紹介カードを見て、相手のことを理解しようとする。 学校生活の様子を知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 親に手伝ってもらいながら、考えたり工夫したりして楽しく作成した。 すきな食べ物やスポーツのことや、アニメのことをしり、同じところや違うところがあることを身近に感じた。 	生活
テーマ学習	10月 11月	<ul style="list-style-type: none"> 本での調べ学習をする。 フォーラムでの質問や写真で知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 初めてなので難しい様子だった。 カメルーンについての資料が少なかったため、外国という大きなテーマで学習したり、日本について調べる学習にした。 	生活
構図決定	11月	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートに自分の考えを描き、全員の中から話し合っって作り上げた。 フォーラムで確認しあった。 	<ul style="list-style-type: none"> 例示があったので、分け方は考え易かった。 いくつかのテーマを具体的にアドバイスしたので、自分が描きたい絵を考えて描いていた。 	図工
壁画制作	11月 12月	<ul style="list-style-type: none"> カーボン紙を使う方法で、全員が少しずつ下書きを写し、全員で少しずつ色を塗った。 製作中の様子をフォーラムで知らせあった。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分が描けるところが少なくても納得し、譲り合っって丁寧に仕上げようと努力していた。 初めて大きな布に描いたことや、みんなで共同制作したことが楽しそうだった。 	図工
鑑賞・振り返り	2月 3月	<ul style="list-style-type: none"> 昇降口や体育館に展示して、全校で鑑賞した。 ワークシートに感想を書いた。 この活動全体を振り返って感想を発表しあった。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手が描いたところを興味深く観たり、一緒に送られてきた品物に触れたりして、異国の文化に興味をもった。 アートマイルに取り組めたことがいつまでも心に残る体験になったようだ。 	生活 学活

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	B	3	これが自分の国の文化の特徴であるという認識は薄いと思われる。
異文化の理解	A	4	いままで知らなかったカメルーンのことをいろいろと知ることができた。また、外国のことに興味をもてた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	C	3	相手に親しみをもって活動に取り組んだが、個人の直接交流はなかった。
情報活用能力 (情報収集・発信)	C	3	本が少なかったり、低学年のため読み取る基礎知識が少なかったりして、十分高められたとは言えない。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	B	4	学級内での話し合い活動や相手との交流の手順を体験し、相手を理解しようとする態度が育った。
協働する力 (役割分担・協力)	A	4	クラス毎の分担や学級内での作業等に協力して取り組む態度が育った。
学習を追究する意欲	B	4	担任の働きかけに素直に反応し、ワークシート記入しながら、意欲的に取り組んでいた。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	B	4	自分なりの考えを絵に描いていた。 メッセージカードにも相手に喜んでもらえそうな絵などを描いていた。
作品を鑑賞する力	B	3	絵を良く見て気づいたこともあるが、相手の説明を知ってよく分かった部分もあった。